

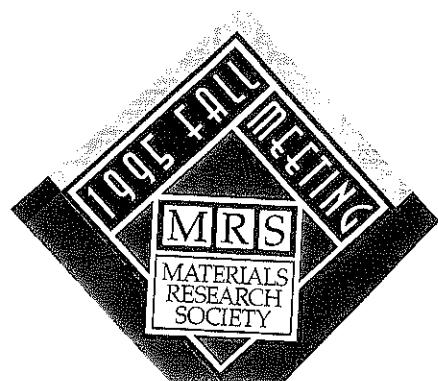
談話室

1995年アメリカ材料学会(MRS)秋季大会  
—Nanostructured Materials  
に関する今後の動向—

磯 部 徹 彦

慶應義塾大学理工学部応用化学科  
〒223 横浜市港北区日吉3-14-1

(1996年1月29日受理)



**1995 Fall Meeting of Materials  
Research Society**  
**—Information of Future Symposia  
on Nanostructured Materials—**

Tetsuhiko ISOBE

Department of Applied Chemistry,  
Faculty of Science and Engineering,  
Keio University  
3-14-1 Hiyoshi, Kohoku-ku, Yokohama 223

(Received January 29, 1996)

11月27日から12月1日までアメリカ合衆国マサチューセッツ州ボストンで開催された Materials Research Society (MRS) の fall meeting に出席した。この会議は秋はボストン、春はサンフランシスコで開催され、約25に昇る symposium から構成されている。symposium によって性格がかなり異なるものの、化学よりも物理にずっと大きな比重が置かれている感じがする。特に、デバイスへの応用が期待される光学やエレクトロニクス関連の発表が目立つ。AFM や強誘電体薄膜の会場も超満員であった。ポスターセッションも午後 8:00~11:00 まで多数の人が参加した。これは、米国はとくに危険なイメージがあるが、MRS 会場の 3ヶ所のホテルが専用の連絡通路で屋外に出なくても行き来ができるからかもしれない。

最近 quantum dot effect をはじめとして nano サイズが話題を集めている。tentative な情報であるが、1996 fall meeting では Nanophase and Nanocomposite Materials II や Nanocrystalline and Microcrystalline Semiconductors といった symposium が開催されることが審議されているようである。なお、昨年末より、windows95 がリリースされて以来、internetへのアクセスが話題になっているが、www を利用して MRS に関する情報を入手できるのでお知らせし

たい。アドレスはつぎのとおりである。

<http://www.mrs.org/>

また、Nanostructured Materials 関連の会議のスケジュールと問い合わせ先が www で入手できるので、ここに紹介する。

<http://cobalt.nist.gov>

ちなみに今年のスケジュールのいくつかを挙げると、つぎのとおりである。

[May 27~31, 1996]

1996 International Conference on Metastable, Mechanically Alloyed and Nanocrystalline Materials (ISMANAM-96), Rome, Italy.

[July 8~12, 1996]

NANO'96 : 3rd International Conference on Nanostructured Materials, Kona, Hawaii.

[July 14~18, 1996]

Symposium on Processing of Nanocrystalline and Nanocomposite Materials, 5th World Congress of Chemical Engineering, San Diego, CA.

[July 21~27, 1996]

Symposium on Nanocomposites and Multilayered Materials, Third International Conference on Composites Engineering (ICCE/3), New Orleans, LA.

ボストン滞在中、MIT で研究している韓国の友人に、構内を案内してもらった。一番驚いたことは、network 上にさまざまな教科の講義のノートやホームワークが公開されており、必ずしも授業に出席する必要がないことである。もちろん、ホームワークは電子メールで回答できるし、テストとホームワークの点数がどのような比率で成績に反映されるのかまでもオープンになっている。しかし、コミュニケーションを含む授業形態がなくなるのではないかという感じがする。